

OptiLayer ユーザーの皆様

OptiLayer を Windows11 搭載の新規 PC にインストールする場合、Windows11 ではセキュリティ要件が変更になっていることが原因でインストール前に「メモリ整合性」をオフにする操作をしておかないと、最悪、インストール中にブルースクリーンになってしまい Windows までも破損してしまう危険性があるとのことでした。

なお、Windows10 から Windows11 にアップデートされた場合、Microsoft が予め「メモリ整合性」をオフでアップデートするようになっているために本問題は発生いたしません。

(新規で購入された Windows11 の PC はオンになっているようです)

メモリ整合性をオフにする操作は以下のとおりです。

1. Windows の設定を開きます。
2. プライバシーとセキュリティを選択します。
3. Windows セキュリティを選択します。



4. デバイスセキュリティを選択します。



5. コア分離の中にある「コア分離の詳細」を選択します。



6. メモリの整合性をオフにします。



The screenshot shows the Windows Security interface. On the left is a navigation pane with the following items: Home, Virus and threat protection, Account protection, Firewall and network protection, App and browser control, **Device security** (highlighted), Device performance and health, Family options, and Protection history. The main content area is titled 'Core Isolation' (コア分離) and includes a sub-section for 'Memory Integrity' (メモリ整合性). The text explains that this feature prevents malicious code from being inserted into high-security processes. A warning icon indicates that memory integrity is currently off, and the device may be in a vulnerable state. A red box highlights the 'Off' toggle switch for memory integrity, with a 'Detailed information' link below it. Below this, there is a section for 'Microsoft's list of vulnerable drivers' (Microsoft の脆弱なドライバーのブロックリスト), which is currently turned on.

この操作を実施後に **OptiLayer** がインストール可能になるとのことです。
ご迷惑をおかけしますが、ご注意いただきたくお願いいたします。

なお、**OptiLayer** 作成者の Dr. Trubetskov 氏が立ち上げました **OTF Studio** 社が作成しました

OTF Studio のキーは **Windows10/Windows11** と完全に互換性がありますので、この問題は発生いたしません。

よろしくお願いいたします。